

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建築史	
科目基礎情報							
科目番号	0014			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	日本建築学会編「西洋建築史図集」「日本建築史図集」「東洋建築史図集」「近代建築史図集」						
担当教員	安高 尚毅						
到達目標							
1. 西洋の古代、中世、近世の建築の潮流について説明できる。 2. 日本の原始、古代、中世、近世の建築の潮流について説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	西洋の古代、中世、近世の建築の潮流について説明できる。			西洋の古代、中世、近世の建築の潮流についての理解が不十分。		西洋の古代、中世、近世の建築の潮流について説明できない。	
評価項目2	日本の原始、古代、中世、近世の建築の潮流について説明できる。			日本の原始、古代、中世、近世の建築の潮流について理解が不十分。		日本の原始、古代、中世、近世の建築の潮流について説明できない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ④ JABEE (A)							
教育方法等							
概要	西洋の建築の歴史、日本の建築の歴史を先史から近代直前までを講述する。						
授業の進め方・方法	スライド資料とプリントにより授業を進める。						
注意点	1. 世界の歴史的建造物や町並みに関する情報を日頃から収集し、理解を深めてほしい。 2. 京都・奈良での名刹を直に接することを推奨する。						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	オリエンテーション			歴史の流れについての把握	
		2週	オリेंट、古代ギリシア			エーゲ海文明、ギリシア文明、神殿、オーダーの把握	
		3週	古代ローマ			古代ローマにおける神殿、宮殿、教会、公共建築の把握	
		4週	ロマネスク・ゴシック			修道院、交差ヴォールト天井、リブヴォールトの把握	
		5週	ルネサンス			ルネサンス期におけるパルッツォ、建築理論、理想都市の把握	
		6週	マニエリスム			パラディオ建築、プロポーションの把握	
		7週	バロック、ロココ			反宗教改革運動、都市改造の把握	
	8週	中間試験			西洋建築史の概要が説明できる		
	4thQ	9週	日本の原始時代			竪穴式住居、古墳群の把握	
		10週	日本の古代建築			伊勢神宮、出雲大社、法隆寺、伽藍配置の把握	
		11週	日本の中世建築			大仏様、禅宗様、和様の把握	
		12週	日本の近世建築			霊廟、日光東照宮、権現造の把握	
		13週	日本の住宅建築			書院造り、数寄屋造り、桂離宮の把握	
		14週	日本の明治期の建築			東京駅、銀座レンガ街の把握	
		15週	まとめ			建築の歴史を勉強する意義を理解する	
16週		期末試験			日本建築史の概要が説明できる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0